

# 旧菱田中学校跡地に合宿

(当該案件は、特別委員会に付託された。以下特別委員会での主な質疑内容を掲載)

**質**：先般実施した議員研修の中で、県の担当課から、中学生及び高校生のグループは使用できないと明言されたが、当該事業に係る要求水準書の事業目的では、小・中・高校生なども使用可能であると解釈できる。県の意向と異なると思うがどのように解釈すればいいのか。(中山議員)

**答**：地域住民を含め、学生、実業団、トップアスリートまで利用可能な施設であり、トップアスリートに限定した施設ではないと認識している。

**質**：PFI方式というのは、後世に財政負担を残すことになるのではないかと懸念しているが、その点についてどのように考えているのか。(中山議員)

**答**：大規模な施設を整備すれば建設費や維持管理費は上昇することになると思うので、今後財政負担を軽減する努力をしなければならぬと考えており、その点については、合宿施設の規模や機能、また、どのような方々をターゲットにするのかなど、株式会社OTCや県の施設の指定管理者も交えながら、慎重に検討して財政負担の軽減が図られるような事業になるよう努力していかねばならぬと考えている。

## 陳情1件を不採択

商工会に対する平成31年度補助金増額等について

趣旨

商工会に対する平成31年度補助金の増額や今後も安定的かつ

長期的な事業運営を展開するため、商工会に対する助成の制度化を執行部に働きかけるよう求めるもの。

以上のような趣旨から以下の3項目について検討されるよう陳情されたものです。

- 1 商工会に対する平成31年度補助金が増額になるよう執行部に働きかけ、議会で承認いただくこと。
- 2 小規模事業者販路開拓支援事業（インキュベーションシヨップ事業）に対する補助金が30万円になるよう執行部に働きかけ、議会で承認いただくこと。
- 3 商工会が今後も安定的かつ長期的な事業運営を展開するため、商工会に対する助成の制度化（条例化、規則化、要綱化等）を執行部に働きかけ、議会で承認いただくこと。

**反対討論**：1項目の平成31年度の補助金増額については、財源を捻出するのに苦慮しているのは分かるが何のための増額なのか分からない。2項目の小規模事業者販路開拓支援事業については、既に平成29年度から予算化されている。3項目の助成の制度化については、要綱などが整備されているとのことであり、必要性を感じない。以上のことから反対である。(上原議員)

### 賛成討論

陳情書の内容については、補助金の増額とあるだけで具体的な数字が見えてこない部分はあるが、補助金額を他の市町村と比較すると、大崎町は少ないと思う。他の市町村に近づけようとするための補助金増額には賛成である。(上原議員)

(陳情の審議内容などについては4ページにも掲載)